

環境コミュニケーション大賞（環境報告書部門） 審査委員会特別優秀賞 採点表（平成30年版）

環境報告書としてすぐれていることに加えて、新しい国際的な枠組みに対し積極的に取り組んでいる報告書や、統合思考や長期ビジョンを打ち出している報告書、バリューチェーン・マネジメントやダイバシティ・ポリシー及び情報の質の担保において特に優れた報告書。

1) マテリアリティ選定プロセス MAX 20点

① 経営トップが選定に関与していることが明記されている。 MAX 5

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

② ステークホルダーを巻き込み、ダイアログの意見も取り込んでいる。 MAX 5

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

③ マテリアリティ選定プロセスが明記されている。 MAX 5

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

④ マテリアリティ選定と企業戦略の関連の意図が読み取れる。 MAX 5

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

2) バリューチェーンマネジメント MAX 20点

① 部分的にせよ、CSR デューディリジェンス(D.D.)を実施している。 MAX 7

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

② CSR 調達基準を公開している。 MAX 4

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

③ 部分的にせよグリーン調達についてD.D.を実施している。 MAX 6

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

④ グリーン調達基準を公表している。 MAX 3

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

3) 統合思考 MAX 20

① 2030年より先の中長期のCSR(ESG)ビジョンを打ち出している。 MAX 10

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

② 財務情報とESG等の非財務情報の統合を図ろうとしている。 MAX 7

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

③ 情報開示基盤整備事業に参加している。 MAX 3

| | |
|-----|-----------|
| 「3」 | 情報を登録している |
| 「0」 | 記述なし |

4) ダイバシティ・ポリシー MAX 15

① 中長期のダイバシティ・ポリシーを策定し公表している。 MAX 5

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

② 取締役会のダイバシティ・ポリシーを公表している。 MAX 4

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

③ 女性についてのダイバシティ・ポリシーを公表している。 MAX 3

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

④ ワーク・ライフバランスについて多様な取組がある。 MAX 3

| | |
|-----|----------|
| 「3」 | 大変すぐれている |
| 「2」 | 普通 |
| 「1」 | 劣っている |
| 「0」 | 記述なし |

5) 情報の質 MAX 10

| | |
|-----|------------------------|
| 「3」 | CSR 報告書全般について第三者保証がある。 |
| 「2」 | 部分的に CSR 保証がある。 |
| 「1」 | カーボンについてのみ保証がある。 |
| 「0」 | 信頼性を示す記述なし |

6) その他、総合評価 MAX 15

以下の項目等について総合的に判断する。

1. GRI G4 もしくは GRI スタンドアードについて対比表がある。
2. (抜き出せば) 統合報告書の作成は容易である。
3. 日本版ステュワードシップコードについての質問の答えとして十分活用できる。
4. その他

※点数の考え方は各項目ごとに上限を設定する加点方式のパターンとし、小項目毎に重みづけを行う。
以上